

2月



令和6年 2月8日
横浜市立綱島小学校
校長 金森 孝子
栄養職員 藤松 美帆

2月3日は「節分」、2月4日は春が始まる日である「立春」でした。日本には、季節の変わり目に健康や幸せを願う思いが由来となった行事が多くあります。時代ごとに変化しながら今日まで続いてきた伝統を、これからも大切に過ごしていきたいものです。

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。しっかり食事をとって、体調を整えましょう。

こんげつ
今月の

こんだて

◎節分の行事食を取り入れました。

(煮魚、揚げだいず)

◎寒さに負けない食事として、体を温める汁物・シチュー・煮物を取り入れました。

(きつねうどん、呉汁、豚汁、かきたま汁、生揚げとだいこんの煮物、カレービーンズシチュー、みそおでん、野菜のスープ煮、肉だんごとはくさいのスープ、ミネストローネ など)

◎旬の食品を取り入れました。

(さば、はくさい、だいこん、こまつな、みずな、ほうれんそう、かぶ、ブロッコリー、いよかん)

※食材産地等の情報を「公益財団法人よこはま学校食育財団 (<https://ygs.or.jp/>)」でご確認いただけます。

〇地場産物使用日

- こまつな (横浜市内産) …14、16、20、21日
- ほうれんそう (横浜市内産) …4日



1月19~25日 給食週間

今年度の給食週間では、給食委員会が中心となって「給食マナービンゴ」に取り組みました。多くの児童が食器の並べ方や食べる時の姿勢などに気をつけて給食の時間を過ごし、ビンゴを達成することができました。給食週間が終わっても食事のマナーを心がけて、楽しい給食時間を過ごしてほしいです。

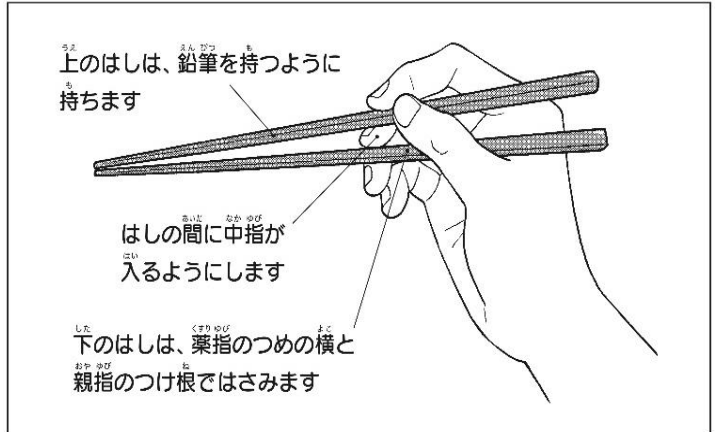
調理員さんへのメッセージを給食室前に掲示して、日ごろの感謝の気持ちを伝えることができました。



も かた たし はしの持ち方を確かめよう

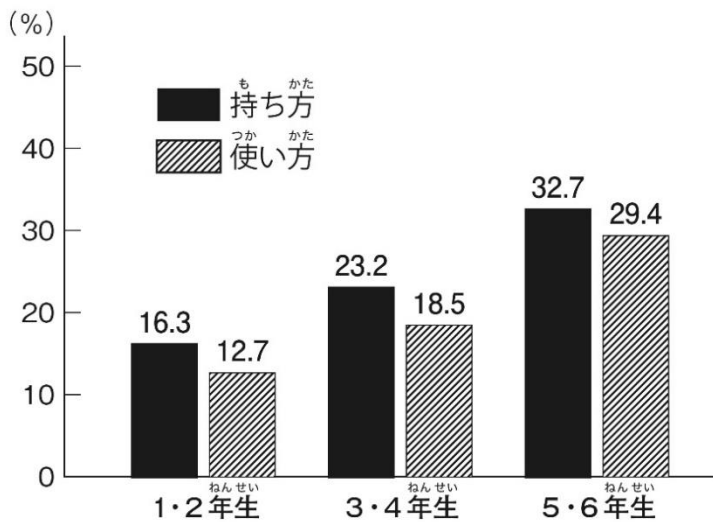
はしを正しく持つと、豆などの小さなものもつまむことができ、食事がしやすくなります。また、見た目もよくなり、気持ちよく食事ができるようになります。はしはほぼ毎日使うものなので、持ち方を身に付けておきましょう。

はしはものをつかむ以外に、切る、はさむ、すくう、くるむ、混ぜるなどの様々な役割があります！



©少年写真新聞社2021

Data に見る食育 ▶▶▶ ※伝統的なはしの持ち方・使い方ができますか



学年が上がるにつれて、伝統的なはしの持ち方や使い方ができるようになっていますが、5・6年生でも、伝統的な持ち方ができるのは32.7%、使い方ができるのは29.4%と、どちらも3割程度にとどまっています。

出典「箸の持ち方・使い方、鉛筆の持ち方・使い方、及び、ナイフで鉛筆を削る動作の実態に関する調査研究」NPO法人子どもの生活科学研究会

※伝統的なはしの持ち方とは、上の図の持ち方をさします。©少年写真新聞社2023

1月

給食たくさん食べたね♪ランキング

1月は給食週間にちなんだ献立が多く出ました。

給食集会では給食のカレーができたまでの動画を放送し、今までよりも興味をもって食べている様子がみられました。

